

## ヒロハヤマヨモギ

*Artemisia stolonifera*  
(Maxim.) Komar.

キク科  
Compositae

**カテゴリー**

大分県 準  
環境庁 準

- 選定理由 | 県内の火山地域に広く分布し、しばしば群生する。高原の土地開発や植生遷移の進行により、生育環境の変化が懸念される。
- 県内分布 | 玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、大分川・大野川丘陵地、大野川上流域、祖母・傾山地
- 分布域 | 本州(中国地方)、九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)、朝鮮半島、中国(東北部)、アムール、ウスリー、ウダ
- 生育環境 | 丘陵地から山地の草地や林縁。
- 現 状 | 生育地は比較的広いが、草原開発や植林化で消滅したり、生育が衰退した所がある。
- 備 考 | 大陸系遺存植物。

## アソヨモギ

*Artemisia stolonifera* (Maxim.) Komar.  
var. *microcephala* Kitamura

キク科  
Compositae

**カテゴリー**

大分県 情報不足  
環境庁 掲載なし

- 選定理由 |
- 県内分布 | (由布・鶴見火山群)
- 分布域 | 九州(熊本・大分)
- 生育環境 |
- 現 状 | 「由布・鶴見火山群」での文献記録はあるが、その生育地は把握されていない。
- 備 考 | 九州特産種。文献 [ 北村四郎 : Compositae Japonicae 京都大学理学部紀要 Ser.B, 15 (1940) ]

## ヒゴシオン

*Aster maackii* Regel

キク科  
Compositae

**カテゴリー**

大分県 IB  
環境庁 II

- 選定理由 | 生育する湿地は希で、個体数も少ない。湿地が開発されたり、森林化したりして生育状態が悪化し、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。
- 県内分布 | 津江山地、九重火山群、由布・鶴見火山群
- 分布域 | 九州(熊本・大分・鹿児島)、朝鮮半島、中国(東北部)、アムール、ウスリー
- 生育環境 | 丘陵地から低山地の湿地。
- 現 状 | いずれの湿地も個体数が少なく、土地開発で消滅したり、植生遷移の進行により、生育状態が悪化している所がみられる。
- 備 考 | 大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。